

スローライフブラスとは ～ かつて吹奏楽部員だったあなたのための吹奏楽イベント～

かつて吹奏楽部員として仲間と合奏音楽を楽しんだ日々を懐かしみ またそのような機会があれば楽しんでみたいと思うことがある・・・。

それぞれの人生において経験やブランクの多少は皆様々であることをみんなで認め合い 指揮者のもと自分が楽しいと感じる範囲で合奏参加できることに いちばんの重きを置いた期間限定の吹奏楽イベント。それがスローライフブラスです。

Slow Life Brass 2023 ～ かみのやまで月一回の部活動気分～

スローライフブラス二年目となる今年は、「かみのやまで月一回の部活動気分」と題して参加者様を募り開催してまいりました。練習会都度収録したビデオ音源を「月いちの足あと」と題した参加者様限定配信Youtubeにてフィードバックし、ご自身の演奏の「足あと」としていただきました。

おかげ様で今年も多くのご参加をいただき、当初予定の大会議室ではおさまりきらず、共用スペースに移動して練習会を実施しました。このことによりふつかまちPLAZAにお越しの市民の皆様からもスローライフブラスの練習会を自由にご覧いただける催しとなり、スローライフブラスをご認識いただける機会になりました。

宮下通先生のご指導のもと約40名の参加者は無事本日のステージに立つことができます。

本日はご来場誠にありがとうございます。ごゆっくりお楽しみください。

Slow Life Brass 2023 / スケジュール

第1回練習会	5月21日	<練習会>
第2回練習会	6月18日	会場：ふつかまちPLAZA
第3回練習会	7月16日	・合奏開始 14:00-
第4回練習会	9月17日	・合奏終了 16:30-
第5回練習会	10月 8日	<発表会>
発表会	10月15日	会場：東ソーアリーナ
		・リハーサル 10:00-
		・本番開演 14:00-



第1回練習会より ふつかまちPLAZA

Slow Life Brass 2023 / 参加者名

ご氏名の掲載につきましてご承諾、ご指示いただきありがとうございます。

Piccolo & Flute 武田 由紀子 勝俣 千恵子 天野 福佐子 東海林 弘美 青木 直子	Alto Saxophone 佐藤 実生 後藤 千賀子 松田 博	Trumpet 今野 佳子 高橋 小雪 遠藤 紗也 松田 大輔 浦山 善和	Tuba 鈴木 好善 相田 淳一
Oboe 遠藤 亮子	Tenor Saxophone 木村 理子	Percussion 高橋 ゆう	
Clarinet 鎌田 亮 渡邊 恵 荒井 久美子 鎌田 幸子	French Horn 高野 勝三 三原 紀男 三原 万理子 佐藤 友美 稲葉 洋希 田中 俊郎 田中 千恵 遠山 元気 板垣 由紀	Trombone 渡辺 雄大 植松 敏 佐藤 学	
Bass Clarinet 鈴木 康生	Euphonium 新関 徹明		



参加者様限定配信Youtube
山形県かみのやま吹奏楽イベント
Slow Life Brass 『月いちの足あと』



第2回練習会より ふつかまちPLAZA

指揮者（右）と主催者



Slow Life Brass 2023 / 指揮者

宮下 通 (みやした とおる)

小学5年から高校3年まで吹奏楽部でチューバを担当、大学以降は声楽活動を中心としながら機会を見て演奏活動に携わる。

その後、山形県内の中学校・高等学校で常勤講師として吹奏楽部の指導を行い、現在、東北文教大学短期大学部子ども学科准教授、山形吹奏楽研究会吹奏楽団常任指揮者、山形楽友合唱団指揮者、山形オペラ協会事務局長を務める。

演奏曲目

～ 文化祭気分で～

行進曲「ワシントン ポスト」 作曲 ジョン・フィリップ・スーザ 約3分間

バンドのためのトッカータ 作曲 フランク・エリクソン 約6分間

映画「明日に向かって撃て」 主題歌
雨にぬれても 作曲 バート・バカラック 約5分間
編曲 岩井直溥

ハイジュード 作曲 ポール・マッカートニー&ジョン・レノン 約5分間
編曲 岩井直溥

序曲「バラの謝肉祭」 作曲 ジョセフ・オリバドティ 約7分間

— 10分間休憩 —

～ コンクール気分で～

1979年度吹奏楽コンクール課題曲A
フェリスタス 作曲 青木進 約5分間

シンフォニア ノビリッシマ 作曲 ロバート・ジェイガー 約7分間
～吹奏楽のための高貴なる楽章～

プログラム選曲の思い

スローライフブラス実施初年度となった昨年（2022年）は、「半世紀の時をつないで」と題して開催させていただきました。

私ことで恐縮ですが、昨年は中学一年生で吹奏楽に出会ってちょうど50年目であったことの思いを込めた楽曲を取り上げさせていただきました。中学、高校の多感な時期に巡り合った楽曲は特別なものを感じ、振り返りたい曲はまだまだあることから二年目となる「かみのやまで月一回の部活動気分」でも1970年代に思いを馳せるプログラムとさせていただきます。

吹奏楽部の活躍の場面としては学校行事での演奏と、吹奏楽コンクール出場の取り組みを思い起こします。体育館で演奏した文化祭の思い出、合宿など夏の思い出とともにあるコンクール出場、すべてかけがえない思い出です。

1972年、「ニューサウンズインブラス」というポップス音楽を吹奏楽演奏用にアレンジした楽譜シリーズの発刊が開始されました。アレンジャーは岩井直溥氏（1923-2014）。約50年前、吹奏楽分野にポップスの手法を持ち込んだ第一人者です。岩井氏は1972年の吹奏楽コンクール中学部の課題曲“シンコペーテッド・マーチ『明日に向かって』”を担当し、吹奏楽コンクール課題曲にもポップス的な要素を取り入れた最初の人物となりました。その氏のアレンジにより1972年に出版された楽譜を練習してきました。「雨にぬれても」と「ハイ・ジュード」をお聴きください。

1974年の全日本吹奏楽コンクールで東京都代表の瑞穂青少年吹奏楽団が「シンフォニア・ノビリッシマ」を演奏、全国大会収録レコードで聴いたこの金賞受賞演奏に多くの人が、この曲の虜になったようです。私が吹奏楽の楽曲に「カッコイイ！」という感覚を抱いた最初の曲であり、多くのみなさんにとってもいつまでも憧れの存在であるようです。

1979年度吹奏楽コンクールの課題曲のひとつである「フェリスタス」、甘美なせつなさとしなやかな力強い輝きをもったこの曲はたいへんな人気をもって採用した団体が多くありました。このたびのご応募に際しても、「この曲をまた演奏したい！」という思いを抱いてご参加いただいたかたが何人もいらっしゃいます。

このたびもほぼ私的な回想プログラムとなりますが、ぜひ最後までお付き合いください。

相田淳一